

疫学研究における生物統計学の発展と貢献

日時：平成26年3月18日（火）10:00～18:00（開場 9:30）

会場：ステーションカンファレンス東京 6F 602CD

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー6F

会場案内：<http://www.tstc.jp/tokyo/access.html> TEL：03-6888-8080

10:00～10:10 開会の挨拶

逸見 昌之（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター）

松井 茂之（名古屋大学大学院 医学系研究科），和泉 志津恵（大分大学 工学部）

10:10～12:10 セッション1：疫学研究における統計手法の概観

座長：松井 茂之（名古屋大学），和泉 志津恵（大分大学）

- マンテルヘンセル推定法と推定方程式
藤井 良宜（宮崎大学 教育文化学部）
- 位置情報を用いた疫学研究とその統計解析～疾病集積性を中心に～
高橋 邦彦（名古屋大学大学院 医学系研究科）
- 傾向スコアによる観察研究の統計解析
服部 聡（久留米大学 バイオ統計センター）
- 欠測データ解析の枠組みと近年の動向
星野 崇宏（名古屋大学大学院 経済学研究科）

12:10～13:30 昼食

13:30～15:30 セッション2：疫学研究における統計手法の最近の展開

座長：逸見 昌之（統計数理研究所），黒木 学（統計数理研究所）

- 潜在反応モデルに基づく直接効果・間接効果の推定
田栗 正隆（横浜市立大学 学術院医学群）
- ノンコンプライアンスを伴うランダム化試験における治療効果の推定：一般化モーメント法のg-推定法への応用
篠崎 智大（東京大学大学院 医学系研究科）
- ネットワークメタアナリシスの理論と応用
野間 久史（統計数理研究所）
- 予防接種の個人レベルの効果推定と疫学モデル
西浦 博（東京大学大学院 医学系研究科）

15:30～15:50 休憩

15:50~17:50 セッション3：疫学研究における統計家の貢献と今後の展望

座長：高橋 邦彦（名古屋大学）、野間 久史（統計数理研究所）

- 社会疫学的大規模調査 JAGES プロジェクトから見る生物統計学の可能性
岡田 栄作（日本福祉大学 健康社会研究センター）
- 自殺対策のための自殺死亡の地域統計の活用
立森 久照（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）
- コクラン共同計画：根拠に基づく医療への貢献
大田 えりか（国立成育医療研究センター 研究所）
- エコチル調査の現状と統計的検討の余地
竹内 文乃（国立環境研究所 環境健康研究センター）
- コホート研究におけるがん分子サブタイプデータの解析
口羽 文（国立がん研究センター 生物統計部門）
- 脳画像解析における Biostatistics
川口 淳（京都大学大学院 医学研究科）

17:50~18:00 閉会の挨拶

山下 智志（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター）



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

リスク解析戦略研究センター

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3

TEL: 050-5533-8595 FAX: 042-526-4342

E-mail: biostat@ism.ac.jp

HP: <http://www.ism.ac.jp/risk/>